

アフリカツアーにご参加のお客様各位

マラリアに関して

※必ずお読み下さい。

この度は、アフリカのツアーにお申し込み頂き誠にありがとうございます。当ツアーの訪問国に入国の際、予防接種は入国手続き上、特に義務づけられておりませんが、訪問国は WHO（世界保健機関）より、マラリアの汚染地域に指定されております。簡単ではございますが、マラリアについてご案内させていただきます。マラリアは、マラリアに感染したメスのハマダラ蚊に刺されることにより伝播され、4 種類の原虫が原因で起こる病気であり、蚊が人の血を吸う際にその唾液とともにマラリア原虫が人の体内に入ることによって感染します。典型的な症例の場合、感染から数日の潜伏期を経て発症し、発熱、悪寒、嘔吐等を伴います。その後、定期的な周期で発熱を繰り返すと、脾腫と貧血が起こってきます。マラリア原虫は、三日熱マラリア原虫、卵形マラリア原虫、四日熱マラリア原虫、熱帯熱マラリア原虫の 4 種類がありますが、マラリア脳症等を引き起こし死亡率が高いのが熱帯熱マラリア原虫です。この病気に感染すると、赤血球が破壊され血液の酸素運搬能力が低下します。破壊された赤血球の破片は、腎臓や肺や脳の動脈を詰まらせ、命取りとなることもあります。

治療せずに放置した場合、4 種のうちの 1 つ、熱帯熱マラリア原虫によるマラリアは、死をもたらし、これは数日という比較的短時間のうちに起こります。他の 3 種、すなわち三日熱マラリア原虫・卵形マラリア原虫・四日熱マラリア原虫が引き起こすマラリアは、比較的軽症で、死に至ることはありません。ただし、これらは再発の原因となって身体を衰弱させます。

マラリアにかからないための予防策ですが、現在、ワクチンの開発はまだ成されていないので、予防薬を服用する化学的予防法か、蚊帳、蚊取り線香、防虫スプレー等の物理的予防法かを選択することができます。マラリアは蚊に刺され感染するものなので、虫除けスプレーや防虫クリームをしっかりとつけ、肌を露出しない服装を心がけて下さい。また白っぽい服には虫が寄り付きにくいといわれております。その他、蚊取り線香もあれば有効でしょう。（特に 10 月～3 月にかけてはより注意が必要な期間です）現地にて予防薬を購入できますが、副作用等の問題がありますので、必ず事前に医師にご相談下さい。

日本においては、マラリア原虫の診断ができる医療機関に限りがあるので、海外から帰国後、上述のような発熱症状等が出た場合、専門の医療機関において当該国に渡航した旨を告げ、早期に診断を受ける必要があります。

株式会社 阪急交通社 クリスタルハート

電話：03-6745-1818

受付時間：月～金 9：30～17：30

土・日・祝日 9：30～13：30